

実際に受入をされた  
ご家庭からの  
感想（抜粋）です

## ホストファミリーの感想



### 【アメリカ・フェニックス市高校生の受入】 ※相互派遣コース

実際に受け入れてみると、抱いていた不安はどこへやら・・・毎日が楽しく、「初めてでも何とかなるものだ！」と思うようになりました。

初めは遠慮がちだった彼女ですが、日が経つにつれ、リビングで過ごす時間が増え、家族の欠かせない一員となっていきました。いつもは短時間で済ませがちだった食事も、彼女のおかげで、いろいろと話をしながら楽しむ団欒の時間になりました。

2週間の滞在期間は、あっという間に過ぎてしまい、まだまだ話したいことや一緒に行きたい所は尽きませんでした。慣れない環境の中で、不便な点もあったかと思いますが、彼女が我が家での2週間を爽やかな笑顔で過ごしてくれたことに、感謝します。



### 【中国・太原市高校生の受入】

私を含め我が家の子どもたちは人見知りをするのですが、積極的な彼女に圧倒され、知らず知らずのうちに親しく話をしていました。

隣国でありながら、私たちは中国のことを何も知らないのだなと思いました。そして、言葉が通じなくても、お互い理解しあおうとすればできるということも分かりました。



### 【オーストラリア・アデレード市高校生の受入】 ※相互派遣コース

受入が決まった時、私たちは英語が話せないことに加え、滞在中に娘が修学旅行に行く魔の4日間をどう乗りきるかという不安は非常に大きなものでした。

娘がアデレードから戻ってからは、不安よりも早く会いたいという気持ちが膨らみました。受け入れ準備は、娘の部屋の片づけから始まり、家中の大掃除に発展し多くの粗大ゴミを排出、断捨離ができた一方、買い物に行く度に彼女のものが増えていき、娘には「私よりママの方が楽しみにしてるやん！」と言われるくらい楽しみ一色だったように思います。一緒に過ごした2週間は、期待以上にとても楽しく、瞬間に過ぎ去って行きました。



### 【韓国・昌原市中学生の受入】

初めてホストファミリーとして韓国からの派遣生を受け入れることになり、とてもワクワクして、どんな子がくるのかなどを楽しみにしていた反面、言葉が通じるのか、一緒に遊んだりすることができるのかなどの不安も大きく、受入の期間の約1週間がとても長いと思っていました。

しかし、実際に受入をして約一週間過ごしていくと、その期間はとても短く、あっという間でした。他の派遣生の人たちと話すことができ、普段耳にすることのない韓国語の会話は、私にとって初めての経験でとてもよかったです。着物体験や京都一日旅行でも、英語で話しかけてくれたり、日本語で言ってくれて、とても嬉しかったです。